

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。

8thCAL Inc.

SHELL



2025年、公衆衛生のプロフェッショナル集団化に向けて

シェルグループの新年度にあたり行われた、代表の岡部と執行役員の福原、千葉による鼎談の一部をレポート

岡部：社会全体が不透明、不安定な空気感に包まれているなか、当社も大切な時期にあると思う。新しい期がスタートする今だからこそ、変化を先導する立場である私達3人での意識あわせがとても大切だと感じているのですが、お二人はどうですか？

福原：確かにそうですね。コロナの影響もあったかもしれませんが、気づかないうちにこの3人が顔を合わせて話をする機会が少なくなっていたかもしれません。私たちが本音で話し合うことができなければ、組織全体が本音で話し合うことなどできないですからね。私は、一緒に未来を創っていく仲間が「この会社でやっていきたい」というやりがいを作るために、全員ではないにしてもより多くの仲間が納得できる仕組みづくりをしていきたいです。それをこの3人で先頭を切って進めていきたいです。新しいシェルグループの核を3人で創り上げたい。それがお客様へのサービス向上につながると思っています。

千葉：私はサービスをお届けする社員の方たちを裏側で支えるポジション。お客様への提供価値向上を、資格取得推進や研修、働きやすい環境を創っていくことで果たしていくのがミッションだと思っています。今までは現場経験者が管理部に配属されることは決して多くはなかった。今期からは、これまでと違う現場感のある仕組みを作ることができるのでは、と考えています。そのあたりも3人で話をしながら新たな組織をつくっていきましょう。

岡部：シェル商事は歴史のある会社であり、それがグループの強みである一方、変化しにくい環境にあるのも事実。それを打破するのが8thCALの役目だと思う。現場は日々走り回ってくれているのだから、それに報いるような変化を8thCALが起爆剤となり起こしていきたい。地球上にいるすべての生物に対して「思いやり」を。人と自然が共存する都市環境を目指し、本質的に良い環境を創っていくことで、未来を創っていききたいですね。この3人同様、シェル商事と8thCALも一体感をもって進めていきましょう。

福原：はい、いい刺激をもらいながら、この輪に入ってくるようなメンバーをしっかりと育てていきます。

千葉：私も裏方として、お客様に良質なサービスをお届けできる体制、仕組みを8thCALの情報も活用しながら創っていきます。

岡部：2025年、公衆衛生のプロフェッショナル集団になるための第一歩となる年にしていきたいです。



右より
岡部 美穂子
シェル商事/8thCAL
代表取締役社長
福原 賛二
シェル商事
執行役員 営業本部長
千葉 健成
シェル商事
執行役員 人事部長



これからの都市衛生管理

都市の衛生管理において重要な役割を担っている害虫防除業務。街中のビルは、特定建築物衛生法の「建築物衛生管理基準」で記されている「ねずみ等の防除」に基づく方法で、IPM (Integrated Pest Management : 総合的病害虫管理) の手法を取り入れた害虫防除を実施しています。

IPMとは、もともとは農作物を有害生物から守る手段として始まったもので、害虫の生息状況調査を重視した防除体系のことです。定期的に生息調査を行い、害虫の発生など異常があったときのみに、必要に応じた殺虫剤を適量使用する方法です。

IPMの考え方は2002年から普及し始めましたが、それ以前は、害虫の発生の有無にかかわらず定期的に殺虫剤の散布を行っており、殺虫剤を大量に使用することが、害虫防除のより良い方法だと考えられていました。大量の薬剤の使用は人や環境へ負担がかかるほか、害虫獣に薬剤耐性が着いてしまうことがあります。地球環境に配慮した行動が求められる中、2002年に公益社団法人日本ペストコントロール協会は「IPM宣言」を行い、業界を挙げてIPMの普及に取り組み始めました。



これまで

建物に侵入した媒介生物を駆除



これから

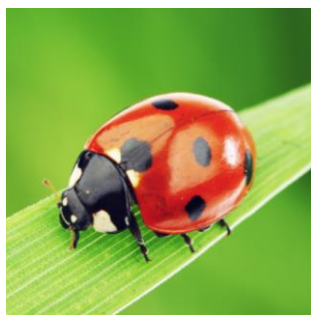
エリアに侵入させない



IPMの実装には、害虫獣や薬剤特性、適切な対策方法を学び実行できる技術力をつけることが重要です。

当グループでは、創業時から培った知識や経験を活かして、IPMをさらに推進・進化させていきたいと考えています。建物に害虫を近づけない、入れない、発生させない仕組みを都市設計に“標準”として組み込むことを目指して私たちは活動していきます。

今月のInsect



テントウムシ

(天道虫・紅娘・瓢虫)

コウチュウ目テントウムシ科

学名: Coccinellidae

漢字では「天道虫」と書き、太陽へ向かって飛んでいく姿から「太陽神の使い」といわれ、縁起のいい虫とされている。英語では「Ladybirds」と呼ばれ、聖母マリアの鳥を意味する。世界各国で「幸せを運ぶ虫」として人気者だ。

Information

● 8thCALコーポレートサイト リニューアルしました

8thCALの活動が分かりやすく・見やすいサイトを目指し、デザインやメニュー構成を一新しました。



● 害蟲展season4開催決定！ただ今エントリー受付中！

今年も、人とあらゆる生物の関係性を考えるきっかけになる展示会を開催します。会期やイベント情報など、随時お知らせいたします。



● note更新しました

代表の岡部が不定期に更新しているnote。

想いをストレートに伝えていきます。是非ご覧ください。



● Pick up 展示会情報

インテリア ライフスタイル展 (※弊社は出展していません)

会期：2023年6月14日(水) - 16日(金) 会場：東京ビッグサイト西展示棟

Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

